

衛研第3 - 16号
平成28年 7月20日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 結核の届出状況（月報）
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 28 年 第 28 週（平成 28 年 7 月 11 日～平成 28 年 7 月 17 日）

今週の注目される疾患 図は <今週の注目される定点把握対象疾患の推移> を参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 3 人の届出があった。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、A 型肝炎 1 人、レジオネラ症 7 人の届出があった。レジオネラ症の届出は前週に引き続き多い。五類感染症は、後天性免疫不全症候群 1 人、ジアルジア症 1 人、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、梅毒 5 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、ヘルパンギーナ(3.42 5.86：図1)の定点当たり報告数は、前週に引き続き大きく増加した。保健所別では、全保健所管内から報告があり、越谷市(4.50 13.50)、鴻巣(1.83 6.42)、熊谷(2.78 6.89)保健所管内で大きく増加し、朝霞(7.86)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では 1～4 歳で全体の 72.7%を占め、1 歳が最も多い。流行性耳下腺炎(1.83 1.46：図2)の定点当たり報告数は、前週より減少したものの 5 月以降漸増傾向にある。保健所別では、秩父、川越市保健所管内を除く 14 保健所管内から報告があり、さいたま市(2.88)、狭山(2.81)保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、4～8 歳で全体の 64.3%を占めている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.46 3.11：図3)の定点当たり報告数は、前週より減少したが、多い状況にある。保健所別では、全保健所管内から報告があり、川越市(6.38)、熊谷(5.33)、東松山(4.80)保健所管内からの報告が多い。手足口病(0.76 1.02：図4)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加したが、大きな流行年であった前年同時期に比べ低い水準で推移している。保健所別では、東松山、秩父保健所管内を除く 14 保健所管内から報告があり、鴻巣(0.17 1.83)保健所管内で大きく増加し、草加(1.82)、さいたま市(1.52)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 41 人の報告があり、後者は前週(28 人)より増加した。基幹定点報告対象疾患では、マイコプラズマ肺炎 6 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3 人（類型 患者 2 人、無症状病原体保有者 1 人、血清型 O157 2 人、O26 1 人）
四類感染症	E 型肝炎	1 人（推定感染地域 国内）
	A 型肝炎	1 人（推定感染地域 国内）
	レジオネラ症	7 人（病型 肺炎型 6 人、ポンティアック熱型 1 人）
五類感染症	後天性免疫不全症候群	1 人（病型 無症状病原体保有者）
	ジアルジア症	1 人（推定感染地域 国内）
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
	梅毒	5 人（病型 早期顕症 期 2 人、早期顕症 期 2 人、無症状病原体保有者 1 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図1 ヘルパンギーナ

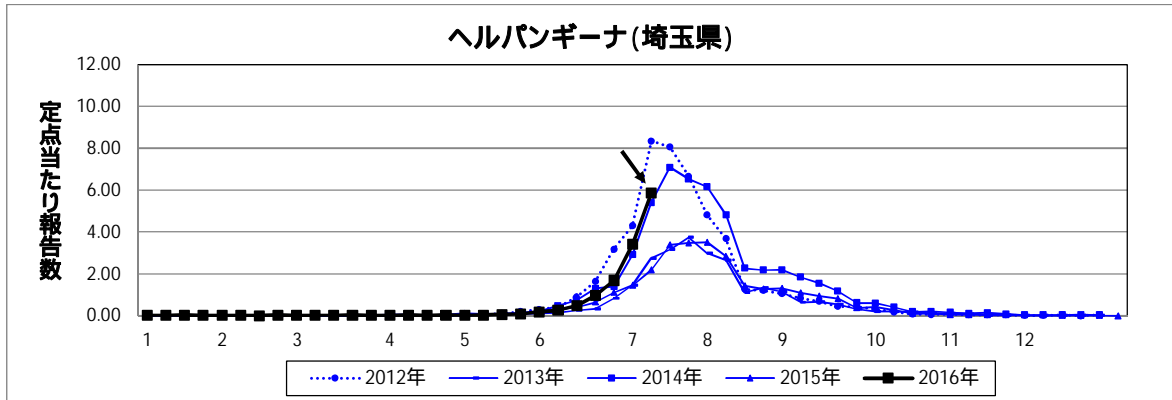


図2 流行性耳下腺炎

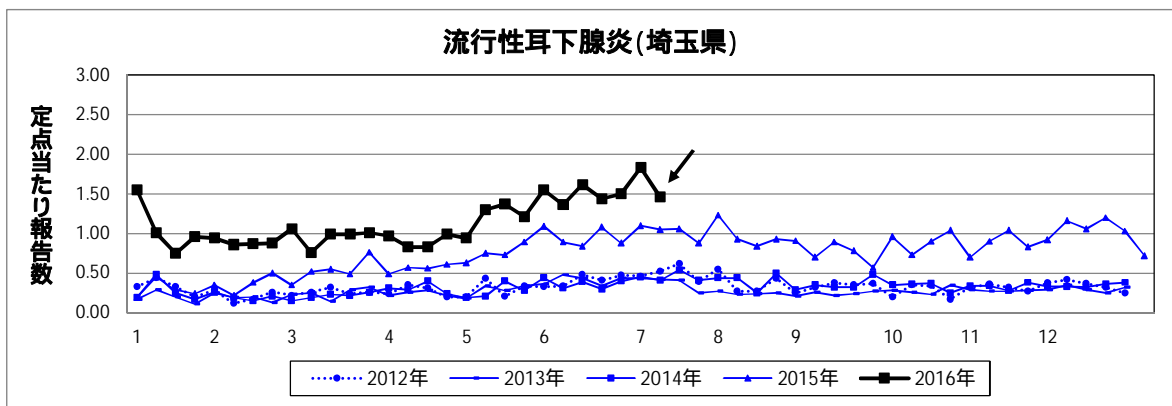


図3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

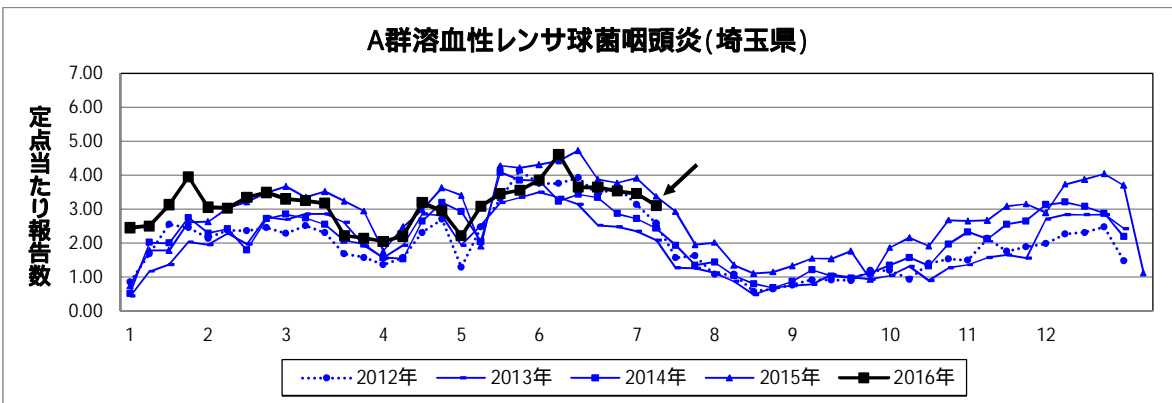
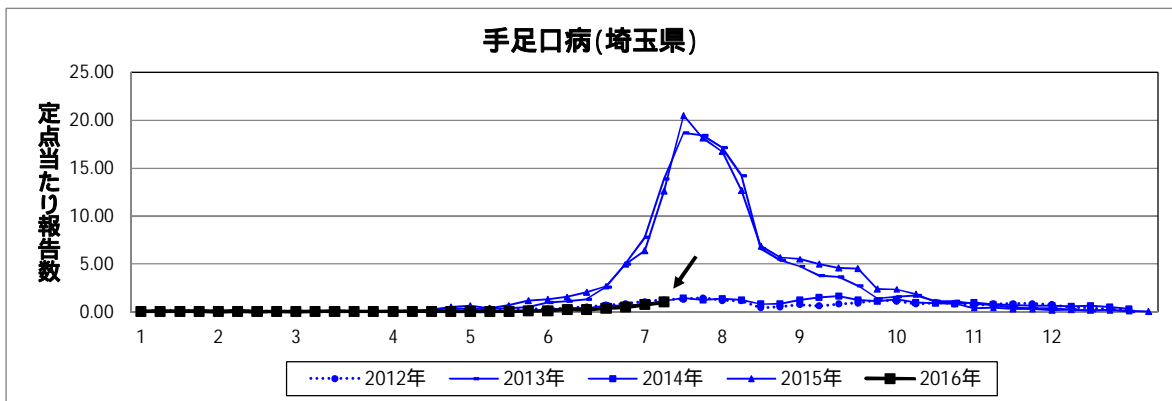


図4 手足口病



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第28週)

(2016年7月19日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		7	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	3	48			
四類感染症					
E型肝炎	1	11	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎	1	4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	7	43
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		6	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		28	侵襲性肺炎球菌感染症	1	64
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		5	水痘*		6
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		22	先天性風しん症候群		
急性脳炎		27	梅毒	5	79
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		11	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		4
ジアルジア症	1	1	風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	6	麻しん		2
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		2
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	4	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(6月分)

6月の届出数は、患者83人、感染症死亡者の死体1人、無症状病原体保有者35人の計119人で、前月の102人より増加したが、前年同月の134人より減少した。

表1 診断月別の届出数の推移(2015年6月～2016年6月)

	2015年*							2016年						累計**
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
総計	134	116	124	99	111	80	116	128	115	105	101	102	119	670
年齢階級														
10歳未満	2	6	0	1	3	1	7	2	2	1	1	3	4	13
10歳代	4	1	10	0	1	0	1	1	5	0	1	2	2	11
20歳代	15	9	6	10	13	4	8	4	12	8	16	17	12	69
30歳代	14	11	9	9	11	5	16	7	8	9	8	6	7	45
40歳代	19	11	15	11	8	11	6	13	22	15	7	9	13	79
50歳代	8	10	23	11	9	13	13	14	8	7	10	10	13	62
60歳代	13	17	13	21	16	13	16	25	16	15	10	16	18	100
70歳代	26	26	17	23	18	15	27	32	16	25	25	18	20	136
80歳以上	33	25	31	13	32	18	22	30	26	25	23	21	30	155
性														
男	84	68	68	64	73	43	61	71	71	65	59	56	76	398
女	50	48	56	35	38	37	55	57	44	40	42	46	43	272
類型														
患者	98	81	85	57	85	63	83	69	77	73	83	70	83	455
感染症死亡者の死体	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
疑似症患者	2	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	4
無症状病原体保有者	34	34	39	39	26	17	33	56	38	32	16	31	35	208
病型														
肺結核	74	65	66	44	63	48	55	42	58	51	62	53	56	322
肺結核及びその他の結核	3	2	3	3	7	4	5	6	7	7	5	4	3	32
その他の結核	21	14	16	11	15	11	23	22	12	15	16	14	25	104
疑似症患者	2	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	4
無症状病原体保有者	34	34	39	39	26	17	33	56	38	32	16	31	35	208

*:2015年の届出数は暫定値

**：2016年1月からの累積届出数

6月に診断された119人を病型別にみると、肺結核では10歳未満を除く年齢階級から届出があり、80歳以上の21人が最も多く、無症状病原体保有者では10歳代及び80歳以上を除く年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2016年6月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	56	3	25	0	35	119
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	4	4
10歳代	1	0	1	0	0	2
20歳代	5	0	2	0	5	12
30歳代	3	0	1	0	3	7
40歳代	6	0	3	0	4	13
50歳代	4	1	1	0	7	13
60歳代	7	1	3	0	7	18
70歳代	9	0	6	0	5	20
80歳以上	21	1	8	0	0	30

保健所	報告患者数										保健所別										平成28年7月11日～平成28年7月17日									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)									
全	4	14	91	489	821	97	160	20	96	1	920	230	1	41	-	-	-	6	-	-	-									
川	0.02	0.09	0.58	3.11	5.23	0.62	1.02	0.13	0.61	0.01	5.86	1.46	0.02	1.00	-	-	-	0.60	-	-	-									
朝	1	14	39	111	4	9	1	8	-	84	6	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	0.04	0.07	0.93	2.60	7.40	0.27	0.60	0.07	0.53	-	5.60	0.40	-	2.20	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	12	55	90	16	18	1	18	-	110	15	-	5	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	0.86	3.93	6.43	1.14	1.29	0.07	1.29	-	7.86	1.07	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-									
朝	1	-	7	35	101	6	22	2	6	-	77	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	0.05	-	0.58	2.92	8.42	0.50	1.83	0.17	0.50	-	6.42	0.58	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	1	24	18	2	-	1	1	-	7	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	0.20	4.80	3.60	0.40	-	0.20	0.20	-	1.40	0.80	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	-	2.33	-	-	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	-	8	3	8	1	1	4	-	9	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	-	2.00	0.75	2.00	0.25	0.25	1.00	-	2.25	0.75	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	3	2	48	102	2	7	-	2	-	62	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	0.33	0.22	5.33	11.33	0.22	0.78	-	0.22	-	6.89	1.78	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	3	8	-	-	4	2	1	-	14	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	0.50	1.33	-	-	0.67	0.33	0.17	-	2.33	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	11	10	10	1	4	1	2	-	23	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	1.83	1.67	1.67	0.17	0.67	0.17	0.33	-	3.83	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	1	1	6	35	17	7	5	-	6	-	45	13	-	-	-	-	-	2	-	-	-									
朝	0.07	0.11	0.67	3.89	1.89	0.78	0.56	-	0.67	-	5.00	1.44	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-									
朝	-	-	1	20	21	5	2	-	4	-	37	16	-	2	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	0.17	3.33	3.50	0.83	0.33	-	0.67	-	6.17	2.67	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	3	27	33	2	20	2	13	1	68	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	0.27	2.45	3.00	0.18	1.82	0.18	1.18	0.09	6.18	0.64	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	1	2	10	46	67	3	16	3	9	-	91	45	1	1	-	-	-	-	-	-	-									
朝	0.04	0.13	0.63	2.88	4.19	0.19	1.00	0.19	0.56	-	5.69	2.81	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	2	51	28	5	8	3	2	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	-	0.25	6.38	3.50	0.63	1.00	0.38	0.25	-	5.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
朝	-	3	11	8	15	4	6	1	2	-	108	6	-	1	-	-	-	3	-	-	-									
朝	-	0.38	1.38	1.00	1.88	0.50	0.75	0.13	0.25	-	13.50	0.75	-	0.50	-	-	-	3.00	-	-	-									
朝	-	4	8	68	205	32	38	2	18	-	139	72	-	19	-	-	-	1	-	-	-									
朝	-	0.16	0.32	2.72	8.20	1.28	1.52	0.08	0.72	-	5.56	2.88	-	2.38	-	-	-	1.00	-	-	-									

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 7月 19日 14:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第28週 平成28年7月11日～平成28年7月17日)

	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
合計	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	14	4	4	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	91	-	2	10	16	10	17	9	10	6	2	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	489	1	2	17	31	40	61	72	73	58	26	36	52	5	15	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	821	12	42	92	84	97	98	74	54	40	41	36	68	21	62	-	-	-	-	-	-
水痘	97	1	5	8	3	5	13	23	9	12	3	8	4	-	3	-	-	-	-	-	-
手足口病	160	1	12	39	31	28	15	16	5	3	2	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	20	-	-	2	3	6	-	5	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	96	1	31	56	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	920	7	59	221	175	141	132	82	43	19	12	10	16	-	3	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	230	1	-	7	13	18	34	36	28	27	23	13	28	-	2	-	-	-	-	-	-
合計	41	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	41	-	-	1	3	5	4	2	2	-	-	-	1	2	1	7	6	3	1	3	-
合計	41	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	6	-	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 26週

(6月27日～7月3日)

平成28年7月20日

インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.14)、福島県(0.12)、鹿児島県(0.10)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は3例と前週と比較して増加し、2県から報告があった。

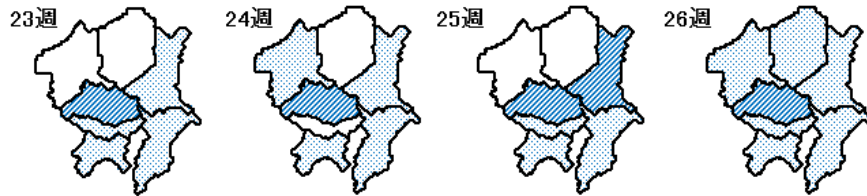
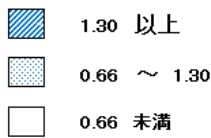
RSウイルス感染症の報告数は368例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約83%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(1.82)、新潟県(1.43)、山梨県(1.38)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(4.87)、鳥取県(4.63)、千葉県(4.28)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(10.69)、愛媛県(7.70)、福岡県(7.14)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は北海道(1.05)、宮城県(0.98)、大分県(0.78)である。手足口病の定点当たり報告数は第14週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(5.35)、鹿児島県(3.20)、高知県(1.30)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は栃木県(1.35)、山梨県(1.21)、長野県(1.15)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.31)、新潟県(2.05)、熊本県(2.04)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は北海道(2.17)、沖縄県(2.14)、宮崎県(1.86)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。16道府県から34例報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～4歳(19例)、5～9歳(7例)、20代(1例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(1.50)からの報告が多い。

流行性耳下腺炎



平成28年 26週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	161	30	2	2	-	3	5	7	11
	定点当たり	0.03	0.02	0.02	0.03	-	0.01	0.02	0.02	0.03
RSウイルス感染症	報告数	368	62	1	-	-	12	7	32	10
	定点当たり	0.12	0.07	0.01	-	-	0.08	0.05	0.12	0.05
咽頭結膜熱	報告数	2,177	715	48	20	45	135	71	223	173
	定点当たり	0.69	0.75	0.64	0.42	0.78	0.85	0.53	0.85	0.81
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	8,478	3,099	133	91	219	561	578	835	682
	定点当たり	2.68	3.26	1.77	1.90	3.78	3.53	4.28	3.20	3.19
感染性胃腸炎	報告数	15,733	4,943	350	97	233	994	645	1,535	1,089
	定点当たり	4.98	5.20	4.67	2.02	4.02	6.25	4.78	5.88	5.09
水痘	報告数	1,407	486	39	22	26	98	77	111	113
	定点当たり	0.45	0.51	0.52	0.46	0.45	0.62	0.57	0.43	0.53
手足口病	報告数	1,503	509	43	33	3	78	128	130	94
	定点当たり	0.48	0.54	0.57	0.69	0.05	0.49	0.95	0.50	0.44
伝染性紅斑	報告数	1,311	308	23	65	48	38	41	56	37
	定点当たり	0.41	0.32	0.31	1.35	0.83	0.24	0.30	0.21	0.17
突発性発しん	報告数	1,905	678	35	22	36	126	99	208	152
	定点当たり	0.60	0.71	0.47	0.46	0.62	0.79	0.73	0.80	0.71
百日咳	報告数	72	17	-	1	6	2	2	4	2
	定点当たり	0.02	0.02	-	0.02	0.10	0.01	0.01	0.02	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	7,139	1,800	91	30	84	269	235	608	483
	定点当たり	2.26	1.89	1.21	0.63	1.45	1.69	1.74	2.33	2.26
流行性耳下腺炎	報告数	3,357	955	73	35	39	238	147	187	236
	定点当たり	1.06	1.01	0.97	0.73	0.67	1.50	1.09	0.72	1.10
急性出血性結膜炎	報告数	14	6	-	-	-	4	-	1	1
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	0.10	-	0.03	0.02
流行性角結膜炎	報告数	520	238	22	11	10	29	29	18	119
	定点当たり	0.75	1.16	1.29	0.92	0.71	0.73	0.83	0.46	2.43
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	27	5	1	1	-	1	-	2	-
	定点当たり	0.06	0.06	0.08	0.14	-	0.10	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	301	39	1	3	7	6	6	14	2
	定点当たり	0.64	0.48	0.08	0.43	0.88	0.60	0.67	0.56	0.22
クラミジア肺炎 #3	報告数	7	3	-	-	-	1	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.04	-	-	-	0.10	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	34	4	-	-	2	1	1	-	-
	定点当たり	0.07	0.05	-	-	0.25	0.10	0.11	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第28週

掲載日：2016年7月20日

感染症発生動向調査 2016年

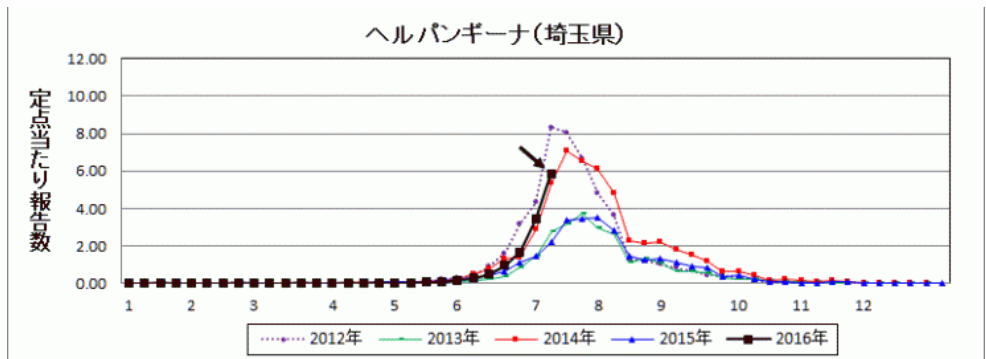
- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第28週](#)

感染症の流行状況 2016年 第28週

2016年第28週（平成28年7月11日～7月17日）の要点 平成28年7月20日

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、前週に引き続き大きく増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑	↓	★
RSウイルス感染症	↑	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱	↓	★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★★★	ヘルパンギーナ	↑	★★★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓	★★★
水痘(みずぼうそう)	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	↑	★	流行性角結膜炎	↑	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)をご覧ください。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン